

平成28年度 指導方法等の改善計画について〔国語〕

廿日市市立大野西小学校

昨年度の課題と具体的に取り組んだ事項

【昨年度の課題】

- 書くために、目的や必要に応じた情報を読み取る力に課題がある。
- 事実と感想、意見を区別して読み取る等、文章全体から問われている内容を読み取る力に課題がある。

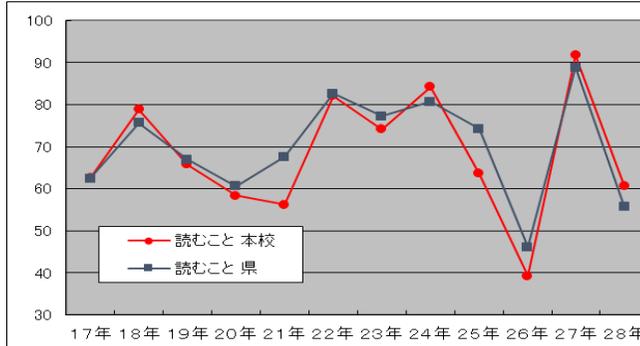
【取り組んだ事項】

- 全校で、学年に応じた「文章全体を捉えて読む」読み方の指導を行う。
- 学習のねらいを明確に持ち、意図的な単元を貫く言語活動を取り入れた授業展開を行う。

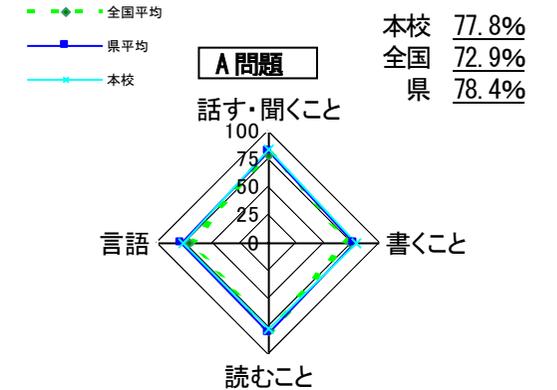
	教科全体	タイプI	タイプII
本校	67.4%	71.1%	43.9%
県	63.7%	68.0%	36.7%

	A問題	B問題
本校	77.8%	56.1%
全国	72.9%	57.8%
県	78.4%	60.5%

「基礎・基本」定着状況調査結果から



全国学力・学習状況調査結果から



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎ 「読むこと」について、「中心となる語や文の把握」の問題が21.5%で、県平均を4%下回っている。また、県平均を下回ってはいないが、タイプIIの「書くこと読むこと」の情報を取り出して解く問題が30%前後である。文章の中のキーワードを読み取る力に課題がある。
- ◇ A問題では、漢字の読み書きの問題が全て県平均を下回っている。また、根拠として適切な表現を選択する問題は県平均を8%下回っており、漢字力や根拠を探す力に課題がある。
- B問題では、質問の意図を読み取る問題が県平均を11.9%、問題文が長文の問題が県平均を6.9%下回っている。長文の読み取りに課題がある。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

- ◎◇目的に応じて、複数の情報の中から必要な情報を読み取る力をつけるために、文章の読ませ方の工夫をする。文章全体の構成や要旨を捉えさせ、主題に関わる根拠を見つける読み取りをする授業を行う。そして、読み取ったことを基に書く活動の中では、キーワードや接続詞を大切にしながら、要旨を言い換えたり、推論したりしてまとめることができるような投げかけをする。
- ◎◇30%未満の児童に関しては、放課後にステップアップタイムを設け、地域の人材を活用し、一人一人の読み取る力を向上させるとともに、意欲の向上を図る。

来年度の目標値

「基礎・基本」定着状況調査において、タイプIの通過率が75%以上、タイプIIの通過率が50%以上

中間検証①(H28.12)

中間検証②(H29.2~3)

最終検証(H29.8)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法	対象	成果指標(方法)	到達目標値	実施後数値	進捗状況・改善方策	成果指標(方法)	到達目標値	実施後数値	進捗状況・改善方策	成果指標(方法)	到達目標値	実施後数値
課題を正しくつかみ、目的に対して必要な情報を正しく捉え、正しい根拠を基に構成を考えながら説明させる指導を行う。	4年生以上	校内調査問題の記述問題	正答率60%以上の児童80%以上、30%未満の児童2%以下			校内調査問題の記述問題	正答率60%以上の児童80%以上、30%未満の児童2%以下			「基礎・基本」定着状況調査 タイプII	通過率50%以上	
学習のねらいを明確に持ち、意図的に、単元を貫く言語活動を取り入れた授業展開を行う。	4年生以上	校内調査問題	正答率60%以上の児童80%以上、30%未満の児童2%以下			校内調査問題	正答率60%以上の児童80%以上、30%未満の児童2%以下			「基礎・基本」定着状況調査 タイプI	通過率75%以上	

平成28年度 指導方法等の改善計画について [算数]

廿日市市立大野西小学校

昨年度の課題と具体的に取り組んだ事項

【昨年度の課題】

- 作図等の操作活動と技能の指導に重点が置かれ、算数のきまりとの関連付けた指導が十分でなかった。
- 情報を正しく読み取り、必要な情報を使って問題を解く力が十分に育っていない。

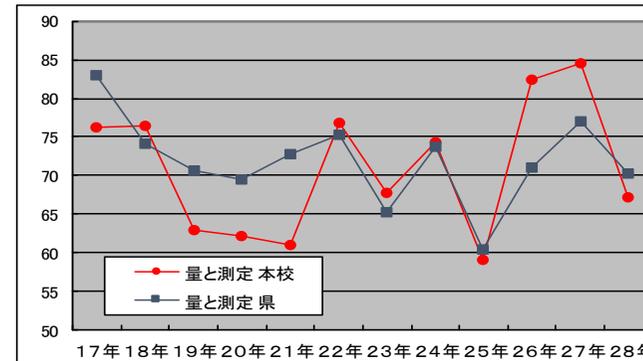
【取り組んだ事項】

- 算数のきまりを根拠とし、算数用語を使って説明する場面に授業に取り入れる。
- 情報を正しく読み取り、必要な情報を使って問題を解く算数的な経験を増やす。

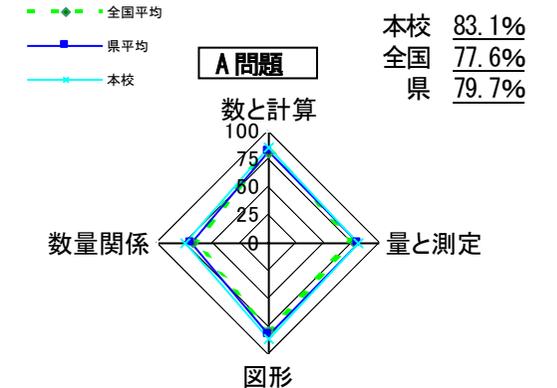
	教科全体	タイプI	タイプII
本校	70.8%	76.2%	53.5%
県	69.4%	74.9%	52.0%

	A問題	B問題
本校	83.1%	50.8%
全国	77.6%	47.2%
県	79.7%	49.5%

「基礎・基本」定着状況調査結果から



全国学力・学習状況調査結果から



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎ 目的に応じた計算結果の見積もりを使って解決する問題が 28.7%で、四捨五入のやり方には慣れてはいるが、切り捨てや切り上げのやり方に慣れていない。
- ◎ 折れ線グラフと棒グラフを関連づけて解決する問題が 31.7%で情報を正しく読み取ったり、情報を関連づけて解いたりする力が十分育っていない。
- ◇ 図形関連の問題が、全国より低い。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

- ◎ 算数用語や算数の決まりを授業の中で繰り返し確認する。
- ◎ 情報を関連づけた問題に取り組ませる。
- ◎ 日常生活場面の中にある算数に気付き、学習したことを活用して問題を解く機会を設ける。
- ◎ 情報量の多い問題から必要な情報を選択し、情報を正しく読み取り、それを使って問題を解く算数的な経験を増やす。

来年度の目標値

「基礎・基本」定着状況調査において、タイプIの通過率が78%以上、タイプIIの通過率が55%以上

中間検証①(H28.12)

中間検証②(H29.2~3)

最終検証(H29.8)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法	対象	成果指標(方法)	到達目標値	実施後数値	進捗状況・改善方策	成果指標(方法)	到達目標値	実施後数値	進捗状況・改善方策	成果指標(方法)	到達目標値	実施後数値
算数のきまりを根拠とし、算数用語を使って説明する場面に授業に取り入れる。	4年生以上	校内調査問題	正答率 60%以上の児童 80%以上、30%未満の児童2%以下			校内調査問題	正答率 60%以上の児童 80%以上、30%未満の児童2%以下			「基礎・基本」定着状況調査 タイプII	通過率 55%以上	
情報を正しく読み取り、必要な情報を使って問題を解く算数的な経験を増やす。	4年生以上	校内調査問題	正答率 60%以上の児童 80%以上、30%未満の児童2%以下			校内調査問題	正答率 60%以上の児童 80%以上、30%未満の児童2%以下			「基礎・基本」定着状況調査 タイプI	通過率 78%以上	

平成28年度 指導方法等の改善計画について [理科]

昨年度の課題と具体的に取り組んだ事項

【昨年度の課題】

- 「並列つなぎの回路のつなぎ方」, 「光電池の特徴」, 「星座の動き方」等の項目で定着に課題がある。
- 水の温まり方や水蒸気の状態説明など, 根拠をもとに考察したり説明したりすることに課題がある。

【取り組んだ事項】

- 予想や考察において, 自分の考えを表現する場面を設定し, 自分の言葉で述べることを習慣づける。
- 観察・実験の説明や適用題を解くときに, 図やグラフ等から必要な情報の読み取り方の指導を行う。

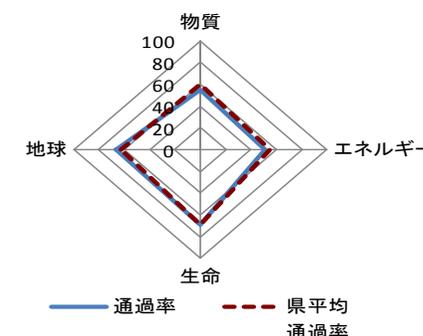
「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率			
	教科全体	タイプI	タイプII
本校	60.0%	67.9%	45.3%
県	60.6%	68.1%	46.7%

全国学力・学習状況調査 本年度正答率		
本校		%
全国		%
県		%

「基礎・基本」定着状況調査結果から

領域	28年度				
	通過率	県平均通過率	通過率	県平均通過率	
生命	I	81.2	82.6	69.1	68.2
	II	56.9	53.7		
エネルギー	I	53.8	59.1	51.5	54.6
	II	48.0	47.9		
地球	I	73.9	68.8	65.7	61.8
	II	24.8	24.6		
物質	I	63.4	66.4	54.5	59.3
	II	41.1	48.6		

領域別平均通過率(理科)



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎ 理科用語「水蒸気」「湯気」, 「体積」の理解が不十分なことから, 正しい説明を選択したり, キーワードを用いて説明したりすることに課題がある。(通過率「温度による水の三態変化」49.5%「水の温度と体積変化と生活の関係」40.6%)
- ◎ 磁石と電気に対する性質という複数の条件を組み合わせることで, 論理的に考えて結論を導き出すことができていない。(通過率「物質の磁石と電気に対する性質」29.7%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- ◎ 新しい単元を学習する前に, 副読本(理科プラス)の活用や適用題を解くことによって単元の内容に関連する既習事項や理科用語の復習をする。
- ◎ キーワードを示して自分の考えを表現させたり, 考察やまとめを自分の言葉で述べたりすることを通して, 論理的に考える力を育てる。

来年度の目標値

「基礎・基本」定着状況調査において, 教科全体の通過率が65%以上となる。

中間検証①(H28.12)

中間検証②(H29.2~3)

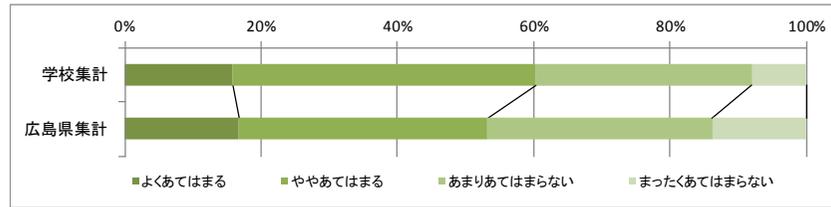
最終検証(H29.8)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法	対象	成果指標(方法)	中間検証①(H28.12)			中間検証②(H29.2~3)			最終検証(H29.8)			
			到達目標値	実施後数値	進捗状況・改善方策	到達目標値	実施後数値	進捗状況・改善方策	到達目標値	実施後数値		
自分の考えを表現する場面を設定し説明し合う活動を仕組む。	4年生以上	理科用語についての調査問題	正答率75%以上			理科用語についての調査問題	正答率80%以上			「基礎・基本」定着状況調査の教科全体通過率	65%以上	
まとめや考察を自分の言葉で述べる。	4年生以上	単元末テストの記述問題	正答率75%以上			単元末テストの記述問題	正答率80%以上			「基礎・基本」定着状況調査の教科全体通過率	65%以上	

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査）

(1) 生活・学習

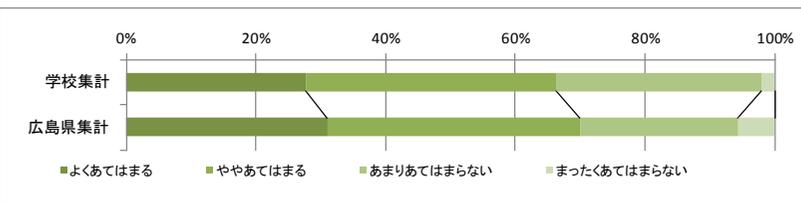
番号	質問内容 選択肢	学校の授業の予習をするようにしています。			
		よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
(6)	学校集計	15.8	44.6	31.7	7.9
	広島県集計	16.8	36.4	32.9	13.8



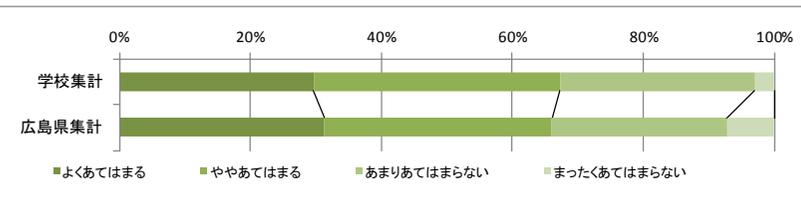
	児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	「授業の予習をするようにしている」と答えた児童の割合が60.4%と低い。	予習の方法について、具体的な例を挙げて児童に説明する。	5	肯定的評価10ポイント以上向上	5年生に対するアンケート	12月		
全国	「話し合い活動の中で友だちの意見のよさを生かしたり折り合いをつけて話し合ったりしている」と答えた児童の割合が34.0%と低い。	学年に応じた話し合い活動の進め方をマニュアル化することと、マニュアルを活用して話し合い活動に取り組むこと。	6	肯定的評価5ポイント以上向上	6年生に対するアンケート	12月		

(2) 教科

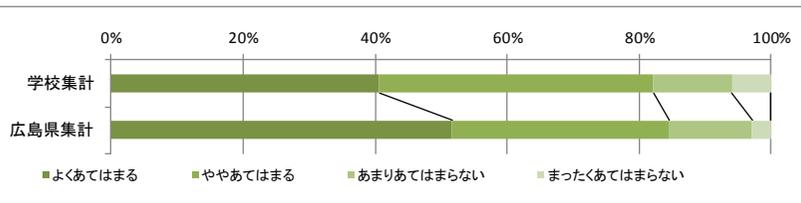
国語：目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしています。



算数：とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科：観察や実験の結果をグラフ、表などに記録する方法について学んでいます。



	児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	「目的に応じて資料を読み、自分の考えを表現する」と答えた児童の割合が66.3%と低い。	目的にそった授業展開をし、発問を工夫することで、視点をもって読み取り、表現できるようにする。	5	肯定的評価5ポイント以上向上	5年生に対するアンケート	12月		
	「目的に応じて資料を読み、自分の考えを表現する」と答えた児童の割合が61.8%と低い。	根拠をもとに自分の考えを表現できるように、筆者の考えや主張、例、根拠等を正しく捉えられるようにする。	6	肯定的評価5ポイント以上向上	6年生に対するアンケート	12月		
算数	「とき方などを話し合うとき理由をあげて説明する」と答えた児童の割合が67.3%と低い。	授業で算数用語を積極的に使ったり提示したりして、算数用語を活用して説明する練習をする。	5	肯定的評価5ポイント以上向上	5年生に対するアンケート	12月		
	「学習したことを生活の中で活用できないか考える」と答えた児童の割合が69.1%と低い。	見積もり、単位量当たりの考え方など、生活の中で使われている内容を児童に示し、練習問題に取り組みさせる。	6	肯定的評価5ポイント以上向上	6年生に対するアンケート	12月		
理科	「観察や実験の結果を記録する方法について学んでいる」と答えた児童の割合が65.3%と低い。	理科用語を使い、キーワードを用いて結果を文章化する練習に取り組ませる。	5	肯定的評価5ポイント以上向上	5年生に対するアンケート	12月		